

会 議 録

会議の名称	平成28年度第6回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成28年12月9日(金)午後6時～7時30分
開催場所	みずほ台コミュニティセンター
出席者	本間雄一委員、長ヶ原美博委員、吉田廣子委員、 小森重紀委員、武田秀規委員、田尻円委員、搦木道代委員 大根田良夫委員、岩村沢也委員、事務局
欠席者	千葉純平委員
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) 地域でできる子どもに向けた支援 2. 報告及び連絡事項
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

会 議 内 容 (要点記録)

1. 開 会

2. 協議事項

(1) 地域でできる子どもに向けた支援

対象別に、委員全員の意見をいれたものをシートにまとめた。意見が集約されているため、シートをベースに今後のまとめる作業を想定しながら意見交換。

【副議長】全体をみながら、意見をお願いしたい。

【委員】地域の新たな担い手について、「こんなことをしたらいい」「あんなことをしたらいい」という提案をしたいが、そもそも役員としてのイメージが悪いというのが一因にあると思う。実際やってみたら、思ったより楽しい、大変ではなかったという場合も多々あると思うが、そこに行きつく前に、イメージが悪いのが非常にもったいない。実際やると、ひとつの役員からいろんな組織に波及して、見聞やつながりが広がるなどいい面もあるはず。“大変”というイメージが先行しすぎているため、「イメチェン」を図りたい。

【委員】広報などもできるだけ組織の活動を掲載するとよいが、PTA の広報は学校活動と同様の内容が多く、主に学校行事が載っているのはもったいない。

【委員】今は家庭の環境も変わっているし、働いている保護者も多くいる。夜の会議に子どもを連れてくることに抵抗がある人が少し前は多い気がしたが、今は子どもを連れていても普通になってきた。誰でも参加できる環境ができると、変わってくる側面もあるのでは。

【委員】学校応援団などはいろんな要請が学校から来るが、それは学校単位で行われるものなのか疑問に思った。地域子ども教室は生涯学習課からくる。学校運営支援者協議会に出ると、いろんな立場の人がいる。そういったものは全て学校単位なのか、市として全体の組織があるのか。

【委員】学校応援団の活動は学校単位で行われるが、全体の組織は学校応援団支援本部というのがある。子ども教室も運営委員会というのがある。それぞれ活動はしていても、全体の組織というは、個々にもっている。

【委員】それぞれあるのはいいが、PTA と異なるのは応援団も子ども教室もそこに「地域」という視点が入ることではないか。そのため、子ども教室と応援団を一緒にするのはどうかという話を以前に、支援者協議会の会議で出したことがある。しかし、設立経緯が異なることもあり、すぐに統合というのは難しいようだった。

【委員】いろんな組織があるが、あくまでも個人の自由意思で行ってもらっていることが前提となっている。そこに、保護者や地域の人と一緒に活動を行うところに難しさがあり、参加者の固定化にもつながっている。参加者の呼びかけが本当に大事と感じる。

【委員】地域の人が入ると、町会とのつながりが出てくる。活動の主要な役は保護者の方が行って、その人たちを支える人として地域の人がいる。継続していくことが、人とのつながりを作っていくうえで必要。

【委員】確かに、町会への働きかけをする時は、役員さんとしてお願いしますという

より、協力をお願いするというスタンスが概ねでは。組織として、町会はいろんな情報があるので、その提供というところをお願いをすることが多い気がする。

【委員】地域の人を巻き込むと、様々なアイデアをもって提供してもらえるとというメリットがある。特に年配の方は、いろいろ知っている。

【委員】その地域で課題となっていることも、別の地域だと以前に取り組みをして、解決していたりする場合もあると思うことがあり、情報共有ができる場がないかと思う時がある。

次回、シートを委員全員の意見を入れた形で作成し、現状・課題・課題分析・提案を第三者的にみて、まとめることとする。

(2) 報告・連絡事項

- ・ 11月22日（火）入間地区社会教育協議会 第4回社会教育委員部会 報告
- ・ 生涯学習フォーラムが、平成29年2月28日（火）at 日高 開催
- ・ 生涯学習関係5委員合同研修会・新年交流会の開催について
 - 平成29年1月28日（土）at 西交流センター。
 - 社会教育委員より報告あり。

3. その他

次回会議日程

平成28年度第7回会議

日程：平成29年2月7日（火）午後7時～

場所：教育委員会 会議室

4. 閉会

○副議長あいさつ